

令和6年度 教科指導計画表

学 年	科目名	単位数	担当者名	使用教科書・副教材
第1学年	保健	1	井山 康彦	現代高等保健体育 (大修館書店)

育成を目指す3つの目標

知識及び技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
学びに向かう力、人間性	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	予 定	時 数	実 施	時 数
1 学 期	1 単元 現代社会と健康 ①健康の考え方と成り立ち②私たちの健康のすがた ③生活習慣病の予防と回復④がんの原因と予防 ⑤がんの治療と回復 ⑥運動と健康 ⑦食事と健康 ⑧休養・睡眠と健康	8		
2 学 期	1 単元 現代社会と健康 ⑨喫煙と健康 ⑩飲酒と健康 ⑪薬物乱用と健康 ⑫精神疾患の特徴 ⑬精神疾患の予防 ⑭精神疾患からの回復 ⑮現代の感染症⑯感染症の予防 ⑰性感染症・エイズとその予防	8		
3 学 期	1 単元 現代社会と健康 ⑱健康に関する意思決定・行動 選択 ⑲健康に関する環境づくり 2 単元 安全な社会生活 ①事故の現状と発生要因 ②安 全な社会の形成 ③交通における安全 ④応急手当の意義 とその基本 ⑤日常的な応急手当 ⑥心肺蘇生法	6		

評 価

評価の観点	評価の観点の趣旨
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

評 価 方 法

① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
定期考査75% 課題提出25%	定期考査75% 口頭試問25%	演習問題50% ノート50%

観点別評価パターンと評定

観点別評価パターンと評定						備 考	
AAA	5	ABB	4	BBB	3	BCC	2
AAB	4	BAB		BBC			
ABA		BBA		BCB			
BAA		CBB		CCC		1	

・評価の観点①②③の順である。
・左記パターン以外は、教科担当の審議により評定を出す。